

車のシート、天井、ホイール



1. ハンドブラシにカバーをつけシート上をやさしくなぞります。(本革などにはご使用いたしません。)
2. 車内の布張りの天井には、ハンドブラシにカバーをつけてやさしくなぞります。
3. ホイールに付着した油・泥汚れにはブラシをつけてこすり落とします。傷をつけない場合はブラシにクロスを巻き付けてご使用ください。

※車のボディ洗浄には高圧洗浄機をお薦めいたします。

網戸、サッシレール



1. ハンドブラシにカバーをつけ網戸上をやさしくなぞります。同じ場所に長く当てず、すばやく動かします。
2. サッシレールの砂ぼこり、汚れはブラシをつけてこすり落とします。細い溝の汚れはノズルヘッドで吹き飛ばします。

スチームクリーナー用アクセサリ一覧

- | | | | |
|--|--|---|--|
| ■ブラシ
2.863-077.0 (3個組)

※真ちゅう製のブラシもあります | ■ハンドブラシ
4.130-144.0 (黒)
4.130-111.0 (グレー)
 | ■ノズルセット
2.884-282.0
 | ■窓用ノズル
4.130-115.0 (黒)
 |
| ■RM 511スケール除去剤
スティックタイプ(9本入り)
6.295-206.0
 | ■カバー(ハンドブラシ用)
6.370-990.0 (5枚組)
 | ■クロス(フロアブラシ用)
6.369-357.0 (3枚組)
 | ■クロスセット
6.960-019.0 (クロス2枚、カバー3枚)
 |
| ■ノズルヘッド
5.130-246.0 (黒)
5.130-191.0 (グレー)
 | ■フロアブラシ
4.130-130.0 (グレー)
 | ■フロアノズル
2.885-142.0 (黒)
 | ■延長パイプ(1本)
4.127-023.0 (黒)
(長さ50cm)
 |
| ■スチームボール
4.130-390.0
 | ■スチームターボブラシ
2.863-159.0
 | ■マイクロクロス(キッチン用)
2.863-172.0
 | ■マイクロクロス(お風呂用)
2.863-171.0
 |

- 注意**
- 素材によっては傷めたり、変色・変形することがあります。目立たない所で試してからご使用下さい。
 - 汚れの種類や状態によっては、汚れ落ちの効果が異なる場合があります。

※開発・改良により、仕様・外観は予告なく変更する場合があります。

ケルヒャー ジャパン株式会社

宮城県黒川郡大和町松坂平3丁目2番 〒981-3408
TEL.(022)344-3140 FAX.(022)344-3141
東日本営業グループ TEL.03-5963-5070
西日本営業グループ TEL.072-650-1395
九州営業グループ TEL.092-934-2828

お問い合わせは

0120-60-3140

受付時間：午前9時～12時 午後1時～5時
月曜日～金曜日(祝日、当社休日を除く)

スチームクリーナー

ユーザーガイド

ケルヒャー

ケルヒャーのスチームクリーナーをより効果的に
お使いいただくためのアドバイスです。

リビングで

窓ガラス・鏡



1. 窓用ノズル(オプション)を使用し、ガラスから10cmほど離して、ガラス全体にスチームを吹き付け温めてから作業します。
2. 5cmほど離れたところからスチームを吹き付けた後、窓用ノズルのスクイジー(ゴムペラ)部分を使い、スチームを止めた状態で上から下へ筋づつ拭き取ります。
3. 誤ってスチームを出さないように、スクイジーの水分を水平方向にふき取ります。
4. 最後にガラスの下部の水分を水平方向にふき取ります。

※ガラスに密着させてスチームを出しますと、ひび割れなどを起こす場合があります。必ず5cm以上離してご使用ください。

ヒント

目立たないところでテスト：
繊維製品(ソファ、ビロード製品、カーペット等)の場合に、前もって試してみることをお勧めします。

テストした部分が乾くまで待って、色や形の変化がないかお調べください。

※皮革製品、シルク製品、ベロア素材等の水分や熱に弱い素材にはご使用いただけません。

ソファ、いすなどのシミ



1. シミができてしまったら、時間を置かずにご使用ください。
2. ノズルヘッドを横にしてスチームを吹きかけ、シミの中心から外へ向かって動かします。
3. 乾いた清潔なタオルでやさしくたたきように水分を取り除きます。
4. 乾いたら汚れの境界線が残っていないか確認します。残っていたら、ハンドブラシにカバーを装着し周りをやさしくスチームします。乾いたら終了です。

フローリング、カーペット



1. クロス(市販の綿タオルでも可)を付けて使用しましょう。クロスの両端を、しっかりとクリップでとめます。
2. スチームを出し、フロアノズルで表面をなぞります。

ヒント

床面がぬれすぎる場合があります。少ないスチームでも十分な清掃が行えます。断続的にスチームを出して下さい。
例) レバーを3秒程度握るとタオルにスチームが溜ります。レバーを放して3秒程度掃除します。この作業の繰り返しになります。
注) スチームを出し続けると床面がぬれすぎる場合があります。

キッチンで

換気扇フード、換気扇



- 1.換気扇フードなどに付着した油膜を取り除くには、カバーをつけてハンドブラシでスチームを出しながら繰り返し拭きます。
- 2.次第に油分でカバーが汚れてきますので、カバーを交換しながら拭き上げていきます。
- 3.換気扇にこびりついた汚れは、ブラシでクロス巻き付けて、スチームを出しながらこすります。
- 4.最後にきれいな布等で拭き取り、終了です。

ヒント

小さなお子さま：

小さなお子さまは、何でも口に入れたがります。そのために洗剤の残留成分が、体内に入り、アレルギーの原因となることがあります。しかし、スチームクリーナーでのお掃除では、一切残留物が残りません。皆様のお身体にもやさしい方法です。

水回りのぬめり、黒ずみ



- 1.こびりついた石灰質の汚れには、酢を数滴かけ、5分間ほど放置してから掃除すると効果が上がります。※分厚くこびりついている場合、完全に汚れが取り除けない場合があります。
- 2.流しの汚れはスチームを当てながらこすります。傷のつきやすい素材の場合は、ブラシでこすらずにスチームを吹き付けます。

※クロムメッキなど傷つきやすい素材にご使用の際は、ブラシをつけてこすると傷がつく場合があります。

レンジ・オープン



- 1.レンジの油汚れには、ブラシでクロス巻き付けて、スチームを出しながらこすります。水気を拭き取り、クロスに汚れが付着したら、クロスをずらしながら汚れを落とします。
- 2.こびり付いた汚れは、ブラシで直接こすります。最後に乾いた布で拭き取り、水気を拭き取り、クロスに汚れが付着したら、クロスをずらしながら汚れを落とします。
- 3.オープン掃除するときは、まず電源を切ります。オープン内部も、ガスレンジと同じ方法で掃除できます。掃除するところがよく見えるように、スチームの量を減らしましょう。仕上げに乾いた布で拭き取り、必要であれば、市販のスチールワールをブラシにからませて使用します。

※こげなどこびり付きのひどい汚れは落ちない場合があります。

※電子レンジ機能のついたオープンに関してはスチールワールのご使用はお薦めいたしません。

まな板



- 4.まな板はスチームを出しながらゆっくり動かすと、除菌効果があります。

ヒント

電化製品：

安全上の理由から、電化製品の掃除をする際には必ずプラグをコンセントから抜きましょう。IHクッキングヒーターにもご使用いただけます。

サニタリー

タイル目地



- 1.タイル目地のカビ取りなどには、ノズルヘッドにブラシを取り付けます。
- 2.スチームを出しながら、手早くこすります。
- 3.最後に乾いたタオル等で表面の水分を拭き取ります。

※シリコン製の目地にはスチームを長時間当てないでください。

ヒント

タイル表面の掃除の仕方：

スポット的な汚れには、ブラシを寝かさず垂直に立てた状態で力を入れずに軽くこすります。

洗面所



- こびりついた石灰質の汚れには、酢を数滴かけ、5分間ほど放置してから掃除すると効果が上がります。※分厚くこびりついている場合、完全に汚れが取り除けない場合があります。

ヒント

スケール除去：

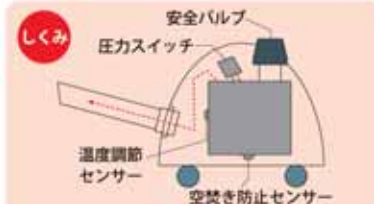
ボイラー内部に湯あかが付着すると、温度が上がりにくくなります。ご使用 15 回毎に（硬水の場合は 5 回毎に）、ボイラーを水ですすいで、湯あかを洗い流してください。また、ご使用 50 回毎に、当社の専用スケール除去剤 RM 511 で、湯あかを除去してください。

トイレ



1. ブラシを装着し、1. 届きにくい便座の裏側は、ノズルヘッドに別売りのノズルセットを装着し、充分スチームを当ててから、トイレの水を流します。
2. 届きにくい便座の裏側は、ノズルヘッドに別売りのノズルセットを装着し、充分スチームを当ててから、トイレの水を流します。
3. 便座には、ハンドブラシにカバーを取り付け、1ヶ所に長く当てないようにスチームを出しながらこすります。

※暖房便座にご使用の際は、使用上の注意をご参照の上でご使用下さい。



スチームクリーナーは圧力鍋としくみが似ています。水を入れ、密閉したボイラーで約 140℃まで熱し、スチームを発生させます。

ボイラー内の圧力は、大気圧の約 2.5 倍～約 3 倍にまで上昇し、スチームが約 100℃の温度で噴射されます。

※ユニットバス・洗面所などの鏡にご使用の際は、耐熱温度など確認後ご使用下さい。なお、ブラシ部分を密着させてのご使用は、破損の原因になる場合がありますのでご注意下さい。